平成28年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

1.	機関番号	3 2 6 0 4 2. 研究機関名 大妻女子大学
3.	研究種目名	特別研究員奨励費 4. 研究期間 平成28年度~平成30年度
5.	課題番号	1 6 J 1 1 7 9 8
6.	研究課題名	D V 被害者支援と民間シェルターにおける米・加・日の比較研究

7. 研究代表者

研	究	者	番	号	研	究 代	表	者 名			所	属	部	局	名	職	名
						マリコ			社	社会情報学部	3					特別研究	究員(PD)
					小川	真理子											

8. 研究分担者

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名

9. 研究実績の概要

本研究は、DV防止取組先進国であるアメリカやカナダ等の民間シェルターの実践を参照しながら、複雑化、多様化するDV被害と支援の実態を明らかにし日本の民間シェルターとの比較検討を通して、効果的なDV被害者支援について検討することを目的としている。本年度は、研究計画に即して、アメリカ、カナダ、イギリス等の先行研究の検討、ならびに、DV被害者支援と民間シェルターの研究に関する資料・データ収集を行なった。民間シェルターの研究動向では、DV被害者支援および民間シェルターを社会科学的な視点から取り上げている研究は数少ない。そこで、先駆的にDV被害者支援に取り組み、研究蓄積があるアメリカ、カナダ、イギリス等の研究について文献調査を行なった。全体的な研究動向としては、地域におけるmulti-agency approach(包括的なDV被害者支援)の取り組みや民間シェルターの運営上の問題と支援の質のジレンマ、また、複雑化するDVや多様なパックグラウンドを持つ民間シェルター利用者への支援等について分析されている。また、先研究からは、アメリカ・カナダとイギリスのDV被害者支援にかかわる国・自治体の対応や民間シェルターの取り組みにおいて相違がみられた。各国の取り組みは、民間主導型と行政主導型に類型化されるが、実態調査を通して考察を深め、日本への応用可能性を探る。日本の調査では、民間シェルター、3つの自治体(A県、B県、C市)および4つの関係諸機関(婦人相談所、婦人相談員、児童相談所等)に聞き取り調査を行った。自治体における支援格差や都道府県と市町村において連携がスムーズに行なわれていない状況等が看取された。

10. キーワード			
(1) ドメスティック・バイオレ ンス(DV)	₍₂₎ 民間シェルター	(3) 女性支援	(4) アメリカ
(5) カナダ	(6) イギリス	(7)	(8)
11. 現在までの進捗状況			
(区分)(2)おおむね順調に近	進展している。		
(理由) 本年度は、海外文献調査の実施、 査結果の一部をまとめた論文(査	国際学会での発表における海 読つき)が学会誌・ジャーナ	多外研究動向の把握、国内調査は ・ルに掲載予定であることなどだ	3よび国内学会発表の実施、ならびに、調から概ね順調に進んでいると考えられる。
12. 今後の研究の推進方策			
(今後の推進方策) 今後の研究推進策については研究 次年度は、今年度に収集した資料 取り調査を実施する予定である。	計画に基づいて予定通り進め ・データの検討および6月の[っていく予定である。 国際学会の準備をしつつ、海外	での関連資料の収集、関係機関への聞き

13.研究発表(平成28年度の研究成果)

(雑誌論文)	計(0) 件,	/ うち査読付論文	計(0) 件 / うち国際共著論文	計(0)) 件 /	/ うちオープンアクセス	計(0)件

し雑誌論又」 計(0)件/つち盆読付論又 計(0)件/つ	フち国際	: 共者 論 乂	計(0)1年/:	254	ーノンアク	プセス 計(0)件	
著 者 名			論	文	標	題	
雑誌名		査読の有無	巻		発行年	最初と最後の頁	国際共著
					1 1 1		
					!!!		
					1 1 1		
					1 1 1		
掲載論文のDO	(デジ	タルオブジュ	ェクト識別子)				
	オープ	ンアクセス					
			> 11L				
[学会発表] 計(4)件/うち招待講演 計(0)件/うち	5国除字	会 計(1					
発表者名	/// 	1 = =	発	表		題	
小川 真理子	災害時	こおけるDV被詞	害女性への支援	行政	・民間の取り	組みと役割	
	君	表年月日			-	表 場 所	
第36回日本家政学会家族関係学セミナ-		10月08日~	尚絅学院プ	一学	元 1	区 场 7/1	
第80日日午永以子公永成園小子とてアー	2016年	10月09日	ロがいコードルン	\ T			
υ ± ± α	I		ジ と	=	標	題	
発表者名 小川真理子	□ + /	おけるDVの加語	発表を対象者	表	信	起	
小川 具建丁 	口半に	יווינאאחפ נוט	舌白と仮舌白				
学会等名	宏	· 表年月日			発	表 場 所	
国際シンポジウム「女性、宗教、暴力:国際的視点からの再		10月19日~	お茶の水が	7 子 大:		N 70 111	
考」(国際学会)		10月19日	0271/0271/3	< 1 \/.	J		
1							

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1		₹ =	+==	題					
発表者名 小川 真理子	DV被害者:	支援と民間シェ	発 表 ェルターに関する国際は	標(較研究	起					
		~12 = 201-57 -		3+X W170						
¥	- VE	E # 0 0	T	74.	± 19					
学 会 等 名 第12回「平塚らいてう賞」 贈賞式		長年月日 1月26日 ~	日本女子大学	発	表場	PIT				
	2016年1 ⁻	月26日								
発表 者名			発表	標	題					
小川 真理子	東日本大	震災とDV被害す	女性への支援 - 宮城県Ai	市におけ	る行政と	:民間の取り	組み -			
	発表	5年月日		発	表場	所				
国際ジェンダー学会「開発とジェンダー」分科会、20 第 1 回定例大会		2月17日~	立教大学							
〔図書〕 計(0)件										
著 者 名		出版社								
書	名		発行年			総	総ページ数			
14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況				•	•					
〔出願〕 計(0)件	27. n□ +v	45 Til +V	文业中文作 。任来	# -	11172		Io			
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、	番号	出原	年月日	国内・外国の別			
			<u> </u>				<u> </u>			

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	
					Ī

15.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16	木瓜空に関連し	て宝施し	た国際共同研究	の事体生活
TЮ.	4411111111111111111111111111111111111	ノし 美加し	化油涂头间饼为	刀夹 加水沉.

(1)国際共同研究:-

17.備考			